

福井大学大学院
福井大学・岐阜聖徳学園大学・富山国際大学
連合教職開発研究科

連合教職大学院

学校のリーダーを育て、
「学校拠点方式」に基づき学校の問題を解決し、
高い教師力を目指す連合教職大学院



福井大学



東京サテライト



岐阜聖徳学園大学



富山国際大学

福井大学は、令和4年3月9日に文部科学大臣より教員養成フラッグシップ大学の指定を受けました。本学は指定大学の中で唯一の総合大学であり、教員養成を変革する牽引役として期待されています。現在、独立行政法人教職員支援機構（NITS）と協働して教員研修の高度化に取り組んでいます。

福井大学の取り組みの詳細は本部のHPをご参照ください。
<https://www.gpdt.u-fukui.ac.jp>

United Graduate School of Professional Development of Teachers
University of Fukui, Gifu Shotoku Gakuen University, and Toyama University of International Studies



世界に誇る 教師コミュニティ

学長 内木 宏延

今、幼児教育から高等教育まで、教育の在り方が大きく変化しつつあります。単なる知識や技能の詰め込みではなく、学習者みずからが課題を発見し、多様な知識や方法を組み合わせることにより、みずからの力で課題を解決する能力と共に、生涯にわたり学び続ける能力を養成することが求めら

れています。このような教育を実現するためには、教師自身が生涯にわたりぐるぐるとらせんを描きながら成長していける教師コミュニティの形成が不可欠です。これは本大学院の中心テーマであり、ぜひ皆さんも本大学院に入学し、教育学部学生、同僚教師、先輩教師、大学院教員、およびさまざまなステークホルダーと共に、理想の教師コミュニティを建設して下さい。



新たな学びと学校を 創造するために

教育学研究科長 木村 優

教育のエージェントである教師は、民主主義を基調とする国家を形成し、維持し、発展させていく重大な使命をもっています。この使命をまっとうするために、私たちは日々遷り変わる社会情勢に柔軟に応じながら、子どもたちの学びを拓き豊かにし、社会をより良く変える力を磨き

合う教育を実現する必要があります。この教育の実現には、専門職の学び合うコミュニティを学校に成熟させていく改革のマネジメントが必須になります。連合教職大学院は、教職の使命をまっとうし、新たな学びと学校を創造する担い手のために生まれた専門職大学院です。民主主義を発展させ、より良い社会を創る協働の実践と研究にぜひ参画していただければと願っております。



「総合力」のある 教員を目指すために

教育学部長 橋本 康弘

学校教育は「多様化、個別化」に向かってきています。学習内容や方法、学習環境の「多様化」、「指導の個別化」、「学習の個性化」、個々の児童・生徒の「学びの多様化」等と表現され、以前の学校教育とは異なった「条

件」の基での教育が表出してきています。教員としての「総合力」を鍛える必要がある今、学校現場でのインターンシップを基盤にした教職や教科等専門領域の学びが大切になっています。教師を志す学部生の皆さん、連合教職大学院で同年代や現職教員の院生と共に、新しい学びを实践していきましょう。

推薦の言葉

わたしたちも応援します。



福井経済同友会 代表幹事

吉田 真士

未来の不確実性が高い現代社会において、組織も個人も、変化に気付く力、変化に対応する力が求められています。教育現場でも同様でしょう。教師力の向上を目指す福井大学連合教職員大学院の取り組みに心から期待しています。



福井県教育委員会 教育長

藤丸 伸和

福井の未来を担う子どもたちには、学びの楽しさを実感し、主体的に将来の目標を考えてもらいたいと思います。福井大学教職大学院には、専門的なスキルを磨きながら、子どもたちと一緒に新しいチャレンジを楽しむ教職員の育成を期待しています。



福井市教育委員会 教育長

吉川 雄二

学校・家庭・地域が力を合わせ、社会全体で子どもたちの「生きる力」をはぐくむことが求められています。そのために、福井大学教職大学院で協働的な実践研究を進めながら、教員としての専門的力量を向上させることを期待いたします。



永平寺町教育委員会 教育長

竹内 康高

「令和の日本型学校教育の構築」を目指し、いろいろな改革を進めることが求められています。そのためには、教員の高い教師力が必要です。福井大学連合教職大学院においては、学校拠点方式で、学校の抱える課題を大学院と連携しながら解決に向かって協働研究し、関わった教員の教師力を高めることができます。これからの時代の中核となる自ら学び続ける教員の育成を期待しています。

教職大学院設置の目的

変化の激しい21世紀の社会を生きる子どもたちが、よりよく自己実現するために、家庭、地域、学校の連携で地域の教育力を高める必要があります。とりわけ学校においては、教員の専門的力量的の向上と協働研究が重要になります。そのために福井大学は、21世紀の学校教育を担う教員の専門的力量的の開発を目的として、教職大学院を開設しました。平成30年からは、奈良女子大学と岐阜聖徳学園大学と連合教職大学院を構成しました。令和2年度には、大学院教育学研究科が連合教職開発研究科に統合されました。特色ある附属学校・拠点校における実践研究を活かして、新しい教師教育を実現します。

「協働実践力」を構成する4つの力

1. 学習と成長を支えるファシリテーター・コーディネーターとしての実践力
2. 学習の協働組織とその改革のマネジメント力
3. 実践の質を不断に高め発展させていく省察・研究能力
4. 公教育としての学校を担う専門職としての教員の理念と責任

学校拠点方式による学びの7つの特徴

1. 学部卒院生は年間を通した実習を通じて、教師としての高度な協働実践力を身につけます。
2. 現職教員院生は、所属校に勤務しながら、大学教員や同僚とともに学校の課題にとりくみ、協働実践力の質を高めます。
3. 今日的課題に焦点を当てた協働研究を支援します。
4. 大学教員がチームでバックアップします。
5. 大学教員は幼・小・中・高・特別支援の学校現場や県の教育研究機関へ出向きます。
6. 学校行事等に配慮した集中的な講座を開設します。
7. 全国の教職大学院や優れた実践とつながります。

免許取得プログラム

3年間で在学し、新たに小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校の教育職員免許取得の道を拓くプログラムです（授業研究・教職専門性開発コース）。

教育課程の概要

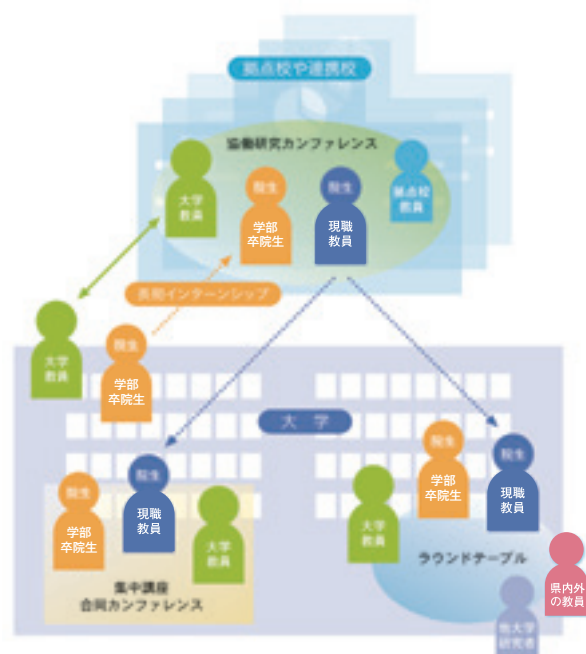
学位 …………… 教職修士（専門職）

修業年限 …………… 原則として2年

必要修得単位 …… 学校における実習
共通科目、コース別選択科目
計45単位以上を取得すること

入学定員 …………… **60名**
学校改革マネジメントコース …… 概ね20名
ミドルリーダー養成コース …… 概ね15名
授業研究・教職専門性開発コース …… 概ね25名

授業研究・教職専門性開発コースでは、教科内容・教材開発の研究を重視して、チームで教科横断的・実践的なプロジェクトを立案・設計・実践する「授業研究専門性開発アプローチ」と、授業実践を中心として、学級活動や行事などの特別活動、校内研修に参画し、子どもたちと密に関わった教育実践研究を行う「教職専門性開発アプローチ」のいずれかを選択して学びます。



現職院生の多様な学び

県のマネジメント研修など所定の研修や講座の受講等を入学時に単位認定することで、1年での修了も可能としています。職業を有している等の事情により、標準の修業年限を超えて柔軟かつ計画的に履修することも可能です。

教育課程の特色

学校拠点の協働実践研究プロジェクト

学校を拠点とし、学校が抱える課題について教職大学院と学校が協働して取り組みます。

協働実践力の開発・発展を支援

「実践力」「マネジメント力」「省察・研究能力」「理念と責任」の4つの軸で教育課程を構造化するとともに、世代交流のサイクルを創り出していきます。

長期実践研究報告の作成

修士論文は課しませんが、長期実践研究報告の作成と発表を行います。

1年間の学校における実習

1年間を通して、学校の年間リズムの中で実習を行います。

学校拠点プロジェクトの事例研究中心の共通科目

「教育課程の編成・実施」「教科等の実践的な指導法」「生徒指導・教育相談」「学級経営・学校経営」「学校と教師の在り方」の5領域について、学校拠点プロジェクトの協働研究・カンファレンス・事例研究を通して学びます。

学校拠点・省察的実践コアサイクル

学校拠点の協働のプロジェクトについて、記録とともに省察を重ね、長期にわたる学校改革を展開していきます(教員養成フラッグシップ科目)。

コース別選択科目

「カリキュラムと授業」「子どもの成長発達支援」「障害児の成長発達支援」「コミュニティとしての学校」「カリキュラム開発研究」「学校改革マネジメント」の6つの系の中から1つを選択し、主題に沿って実践と研究を深めます。

修了生の声

2017(H29)年度修了生
山田 芳裕



昨年度、初めての卒業生を送り出し、改めて「教師」という仕事の素晴らしさと責任の重さを感じております。今年度は2回目の6年生担任として、日々忙しくも充実した日々を過ごしています。

院生の時は、福井県内外の多くの先生方と実践を語り合う機会が多く、自分の実践を見直すと同時に、語り合う良さを肌で感じる事ができました。その学びが、子どもたちや同僚、保護者との関わりの中で生きていくと改めて実感しております。また、院生時代に出会った仲間も教師となり、今も様々な場面で情報共有することができていることも強みです。これからも子どもたちと共に成長する教師として、日々精進していきたいと思っております。

教育課程の構成

	学年履修単位(目安)	
	1年次	2年次
学校における実習(10単位)	10単位	0単位
共通科目(11単位)	8単位	3単位
学校拠点・省察的実践 コアサイクル群(9単位)	4単位	5単位
コース別選択科目(15~16単位)	2単位 (8単位)*	13単位 (8単位)*
合計(45単位)	24単位	21単位

※「カリキュラム開発研究」を選択した場合。

授業科目例

共通科目例

1. カリキュラムのデザインの実践事例研究
2. 授業づくりの長期実践事例研究
3. 児童生徒の成長・発達支援の長期実践事例研究
4. 学校協働組織マネジメント
5. 教師の実践的力量形成の課題と実践

学校拠点・省察的実践コアサイクル群例

1. 学校改革・省察的実践コアサイクルⅠ(状況把握・テーマ設定・試行のサイクル)
2. 学校改革・省察的実践コアサイクルⅡ(基本的展開サイクル構築展開と省察)
3. 学校改革・省察的実践コアサイクルⅢ(長期展開サイクルの構成展開)
4. 学校改革・省察的実践コアサイクルⅣ(長期展開サイクルの展開・省察・展望)
5. 学校改革・省察的実践コアサイクルⅤ(長期展開サイクルの記録化・交流・評価)

コース別選択科目例

1. カリキュラム・授業改革マネジメント学校拠点長期協働実践プロジェクト
2. 児童生徒の成長・発達支援学校拠点長期協働実践プロジェクト
3. コミュニティとしての学校と教師の力量形成学校拠点長期協働実践プロジェクト
4. カリキュラム開発実践研究
5. 学校組織マネジメント学校拠点長期協働実践プロジェクト

※いずれの科目も3名程度の大学教員がチームで担当します。

修了生の声

2018(H30)年度修了生
林 小百合



理論と実践の往還を意識しながら、答えのない問いに向かって学び続けた2年間。年齢や経験、校種、時には職種も異なる院生と語り合うことで、自分の実践を自然と捉え直し、学校改革やあるべき組織の姿、そして理想のリーダー像に思いを巡らせることができました。教職大学院での研究の営みと学校現場での実践の営みが交互に繰り返され、2年という時の流れの中で、自分の中に何かが積み上がってくることを実感することができたのは、決して私だけではないはずです。他では経験できない教職大学院での貴重な学びとかけがえのない出会いは、これまでの私を大きく変えてくれました。そして今、私の背中を押してくれる大きな原動力となっています。

教職大学院の1年

授業研究・教職専門性開発コース

ミドルリーダー養成コース
学校改革マネジメントコース



在学生の声

2021年度在学生
授業研究・教職専門性開発コース2年
岩城 つばさ

福井大学連合教職大学院には、長期インターンシップを中心に、金曜カンファレンスや月間カンファレンスなど、世代や校種を超えた学びの場が広がっています。その学びの場に身を置いて、揺れながらも進み中で、「自分はどのような教師になりたいのか。」「どのように子どもたちを支援して学びを支えたいのか。」「そのためにどんな人達と手を繋いでいくべきなのか。」などといったことが少しずつ見えてきました。これからも様々な人達と学び合い、支え合うことができる環境の中で自分自身をみつめながら成長していきたいです。

在学生の声

2021年度在学生
授業研究・教職専門性開発コース2年
荒木 裕里香

インターン生として長期的に学校に入り、日々の実践の中からたくさんの学びを自分で生み出していく過程は、この教職大学院でしか培うことができない経験です。また、積み重ねてきた実践をじっくりと振り返る週間カンファレンスでは、自分では気づけなかった視点を次の実践につなげることができます。合同カンファレンスやラウンドテーブルでは、多種多様な方々との語り合いを通して、自身の思考の幅を広げることができます。ここでの学びはすべて、教員になるうえで必要な力に直結していると感じています。



4 April

開講式

月間カンファレンス
(5.7.10.11 月にも開催)

週間カンファレンス
(毎週1日、授業研究・教職専門性
開発コースの院生を対象に開講)

5 May

6 June

ラウンドテーブル

授業実践

7 July

集中講座

8 August

9 September

10 October

11 November

12 December

集中講座

1 January

2 February

長期実践研究報告会

ラウンドテーブル

3 March

学位記伝達式



在学生の声

2021年度在学生
ミドルリーダー養成コース2年
岡山 佳耶

教職大学院は学びと問いを常に与えてくれる場所です。日々の実践と大学院で学ぶ理論が重なり合うことで、新たな価値(学び)に気付いたり、これまで気にも留めなかった事柄に疑問(問い)を抱いたりすることができます。この学びや問いが生まれるのは、年齢や立場、業種を超えた繋がりの中で実践を語り合える先生方の存在があるからです。共に学び、共に問いに迫っていく、そして自身の実践に活かす。この営みが私を成長させてくれます。生涯、学び続けるサイクルと、それを支えるコミュニティがここには形作られています。

在学生の声

2021年度在学生
ミドルリーダー養成コース2年
Tjipto William Wongsowajar

I joined Fukui University to study about education, but I discovered much more. Even in my first year, I had valuable meetings with many teachers of varying experience and I got a lot of feedback about my own practice. I realized that everyone has something to contribute to the teaching community, no matter how young or experienced, as every exchange builds upon our shared experiences. Through this program, I found the importance of practical lesson studies, discussion in the teaching community, and active reflection on our practice. Together with keeping sustainable goals in mind, we can help each other improve education in the future. I am improving myself and I am excited to continue in the DPDT program this year.

在学生の声

2021年度在学生
学校改革マネジメントコース2年
大井 和彦

教職歴の中で知らぬ間に構築されつつも安堵している「井の中」の状態と向き合い、それを壊し、教職の在り方を改めて志向し思考するには、教科教育とは異なった教育学的視野が必要と思いこの教職大学院へ入りました。その在り方の思考は、先生方、院生の方々のお陰で個人の段階から組織の段階そして世界の段階へと広がっていただいています。また、県外の者としての在籍は、東京サテライトにしながら地域を超えた自己環境の相対化をも促されています。まさに、問い続け、学ぶ者であり続ける姿勢を養っています。

2025年度 福井大学大学院
福井大学・岐阜聖徳学園大学・富山国際大学連合教職開発研究科
拠点校・協働実践校・連携校

拠点校・協働実践校 22校

- 【福井県】

福井市中藤小学校
福井市明新小学校
福井市安居中学校
福井市至民中学校
坂井市立丸岡南中学校
美浜町立美浜中学校
福井県立丸岡高等学校
福井県立羽水高等学校
福井県福井東特別支援学校
福井大学教育学部附属幼稚園
福井大学教育学部附属義務教育学校
福井大学教育学部附属特別支援学校
福井県幼児教育支援センター
福井県嶺南教育事務所
福井県教育総合研究所
福井県特別支援教育センター
- 【東京都】

東京都板橋区立中台中学校
東京都板橋区立赤塚第二中学校
東京都板橋区立上板橋第二中学校
カリタス学園(幼稚園・小学校・中学高等学校)
板橋区教育委員会
- 【奈良県】

奈良女子大学附属幼稚園・小学校・中等教育学校
- 【岐阜県】

岐阜聖徳学園大学附属小学校・中学校
岐阜聖徳学園高等学校
- 【沖縄県】

沖縄県宮古島市教育委員会

拠点校・協働実践校(機関)
教職大学院と連携して、学校拠点の協働研究を長期にわたって継続している学校や機関。学部卒院生の実習を受け入れる学校(機関)も含まれる

連携校・協力校(機関)
現職教員院生が在籍する学校。教職大学院と連携して現職教員院生の学修を支える。

主な連携校 70校

- 【福井県】

福井市日之出小学校
福井市順化小学校
福井市社北小学校
福井市松本小学校
坂井市立三国西小学校
敦賀市立中郷小学校
美浜町立美浜中央小学校
南越前町立南越前中学校
福井市明倫中学校
坂井市立丸岡中学校
小浜市立小浜中学校
越前市武生第一中学校
越前市武生第六中学校
高浜町立内浦中学校
北陸高等学校
福井県立高志高等学校
福井県立足羽高等学校
福井県立鯖江高等学校
福井県立勝山高等学校
福井県立武生高等学校
福井県立若狹高等学校
福井県立若狹東高等学校
福井県立美方高等学校
福井県立南越特別支援学校
さくら認定こども園
森田さくらこども園
玉ノ江こども園
認定こども園福井佼成幼稚園
社中央第一こども園
和田こども園
大野市教育委員会
- 勝山市教育委員会
敦賀市教育委員会
- 【岐阜県】

岐阜市立市橋小学校
岐阜市立加納西小学校
岐阜市立柳津小学校
羽島市立中央小学校
瑞穂市立生津小学校
岐阜市立藍川中学校
岐阜市立藍川北学園
岐阜市立陽南中学校
揖斐川町立揖斐川中学校
- 勝山市教育委員会
敦賀市教育委員会
- 【富山県】

高岡市立戸出西部小学校
富山市立中央小学校
- 【東京都】

千代田区立麹町小学校
新宿区立牛込第三中学校
- 【神奈川県】

洗足学園小学校
横浜国立奈良小学校
横浜市立日枝小学校
- 【埼玉県】

さいたま市立針ヶ谷小学校
埼玉県立狭山緑陽高等学校
埼玉県立松山女子高等学校
埼玉県立上尾高等学校
- 埼玉県立進修館高等学校
- 【長野県】

岡谷市立川岸小学校
岡谷市立岡谷北部中学校
須坂市立相森中学校
長野市立三陽中学校
- 【北海道】

札幌新陽高等学校
札幌市教育委員会
- 【静岡県】

社会福祉法人静岡慈恵会春日保育園
- 【京都府】

同志社中学校
立命館宇治中学校・高等学校
- 【滋賀県】

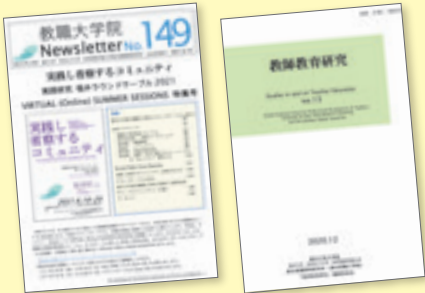
草津市立老上こども園
草津市立玉川こども園
- 【佐賀県】

東明館中学校・高等学校
- 【沖縄県】

宮古島市立西城小学校
宮古島市立狩俣小学校
宮古島市立久松中学校

※マップ内のオレンジ色塗りは、これまで福井大学と連携してきた都道府県になります。

教職大学院関係刊行物等



各種刊行物は教職大学院コラボレーションホールで閲覧することができます。一部は教職大学院ホームページでも公開しています。

院生の
経済支援について

福井大学基金にもとづき、本教職大学院に在籍する院生に対して、奨学金の制度があります。

詳細については、福井大学教職大学院のホームページをご参照ください (<https://www.fu-edu.net/support>)。

JR福井駅から文京キャンパスへは

- えちぜん鉄道……………福井駅→福大前西福井駅下車
(約10分)
- バス(JR福井駅西口バスターミナル2番のりば)
……………福井駅→福井大学前下車
(約10分)
- タクシー……………JR福井駅から約10分



福井大学(文京キャンパス) へのアクセス

https://www.u-fukui.ac.jp/cont_about/data/access/

岐阜聖徳学園大学(羽島キャンパス) へのアクセス

<https://www.shotoku.ac.jp/outline/access/>

富山国際大学(呉羽キャンパス) へのアクセス

<https://www.tuins.ac.jp/campuslife/kureha/>

首都圏拠点

東京サテライト事務所

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2丁目38-1 MID POINT 大塚 6-11号室



お問い合わせ先

〒910-8507 福井県福井市文京3-9-1 福井大学文京キャンパス教育系1号館6階
TEL:0776-23-0500(代) E-mail: dpdtrengo@ml.u-fukui.ac.jp(教職大学院代表アドレス)

なお、入試情報、各専攻・専修教員の研究分野・研究業績等の詳細は
本学ホームページ <http://www.u-fukui.ac.jp/> をご覧ください。

教職大学院ホームページの紹介
<http://www.fu-edu.net/>